

■ 目標値未達成の要因について

法人名	公益財団法人大阪産業局
-----	-------------

〔1〕

成果測定指標	単位	R3年度目標値	R3年度実績値	目標値との差
事業利用による支援企業の成果 売上・営業利益・雇用者数の改善 (DI)	—	府内DI値に上乗せする 売上高変化DI 20 損益変化DI 16 従業員数変化DI 20	府内DI値に上乗せした 売上高変化DI 23 損益変化DI 17 従業員数変化DI 16	従業員数変化DI ▲4

未達成の要因	要因分析（要因と考える根拠）	要因分析を踏まえた今後の対応					
① 雇用確保に比して、売上拡大等の課題を優先	<p>令和3年度の各DIについては、一昨年の財団サービス利用企業への支援低下の状態からは脱し、府内DI値に一定の数値を上乗せすることができる状態まで回復することができた。</p> <p>令和3年度の雇用を取り巻く環境は、全国的にも改善が見られない中、大阪府でも就業者数が減少しており、「雇用促進支援金」などの対策もなされている状況であった。</p> <p>その中であっても、財団の人材支援関連事業においては事業で掲げる目標値を達成するなど、積極的に支援を進め、従業員変化DIにおいて府内DI値を上回るDI値を確保することはできたものの、目標を達成するまでには至らなかった。</p> <p>景気動向指数において、一致系列である販売額や営業利益に対し、常用雇用や失業率は遅行系列に分類されており、また当財団サービス利用企業への支援の状況から分析しても、経営相談においては「売り上げ拡大」に関する相談が特に大きく増加しており、「雇用の確保」以外の項目がサービス利用企業の課題として優先されていたことが要因となったと考えられる。</p>	<p>コロナ禍などで急激に社会情勢が変化する場合など、喫緊の課題に対する支援に注力せざるを得ない状況はあるものの、引き続き、人材支援関連事業にも積極的に取り組んでいくとともに、より多くの企業に支援メニューをご利用いただけるように、支援サービスの向上に努めていく。</p>					
項目名	従業員数変化DI	R3当初想定値	従業員数変化DI 20	実績値	従業員数変化DI 16	差	▲4